

授業概要

本講義では、経営戦略の視点から日本企業の経営活動の実態、現状、課題について明らかにすることにより、日本企業ならではの経営方法である「日本経営論」について、その姿を明らかにすることをその目的とする。本講義ではケーススタディの方法を採用し、多くの事例を取り上げ、その経営戦略について紹介することにより、受講者の日本企業の経営戦略、そして日本経営論についての理解を深めていけるように講義する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、日本企業経営の特徴
第 2 回	日本企業の経営戦略
第 3 回	日本企業のドメイン
第 4 回	日本企業における業界分析
第 5 回	日本企業における基本戦略（マイケル・ポーター理論から）
第 6 回	日本企業における価値連鎖（バリュー・チェーン）
第 7 回	日本企業における資源ベース・アプローチ
第 8 回	日本企業における学習アプローチ
第 9 回	日本企業における SWOT 分析
第 10 回	日本企業における成長戦略
第 11 回	日本企業における市場地位ごとの戦略
第 12 回	日本企業における製品ライフサイクル
第 13 回	日本企業におけるプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント
第 14 回	日本企業における新事業創造
第 15 回	日本企業における企業戦略・競争戦略・機能別戦略
第 16 回	期末試験

到達目標

- ・経済のグローバル化と知識基盤社会における地域経済の活性化に対応するために必要な日本企業の経営方法についての知識を身に付け、他国の企業経営との比較分析を行うことができる。
- ・日本企業経営の学習を通して経営戦略領域の専門知識・技能を修得し、経営戦略領域の小論文を作成することができる（卒業論文作成のための基礎力の習得）。
- ・日本企業を取り巻くニュースについて問題の所在を自己で考え、判断し、それについての見解を他者に示すことができる。

履修上の注意

- ・欠席回数が 6 回に達した学生には単位を認定しない。やむをえない理由で欠席した場合は教員が提示した課題の提出をもって出席と認定する（すべての理由が認められるわけではないので注意すること）
- ・遅刻は都度減点する。内職・スマホいじりは個別に注意の上改まらない場合は減点する。頻繁な退室は減点するが、体調不良等やむを得ない理由による場合は授業終了後その旨を申告すれば減点とはしない。
- ・小テストは持ち込み不可とし、カンニングは即失格とする。

予習・復習

予習：授業計画に書かれた用語について調べ、その内容を 1200 字程度でまとめ、その現状と課題を整理すること。

復習：授業中に配布したプリントや各種文献を参考にしながら小テストでできなかったところを重点的に復習すること。

評価方法

- ・小テスト 81%（第 8～13 回＝6 点満点、それ以外の回＝5 点満点）
- ・期末試験 19%

で評価する。欠席回数が 6 回に達した学生は合格点を取得しても単位を認定しない。

テキスト

使用しない。